

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.184)

1. 豊田PCB処理事業部会について

7月11日(木)に令和元年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。

この部会は、4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとして出席していただいています。

当事業所から、令和元年6月末時点におけるPCB廃棄物の処理状況、環境モニタリング状況等についてご報告いたしました。



保管事業者の皆様から当社に登録していただいた物のうち、PCB油を含む変圧器やコンデンサーは9割以上を、廃PCB油は8割以上処理を完了しております。また、PCB廃棄物の入っていた保管容器は7割以上を処理しております。そして現在は、廃PCB油と保管容器の処理が増加傾向にあることを報告しました。また、環境モニタリングについても、良好な測定結果であることを報告し、委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理が順調に進んでいるとの評価をいただきました。

2. 豊田PCB廃棄物処理施設 処分期間の末日まで1,000日を切りました

豊田PCB廃棄物処理施設の処理エリアである愛知県、岐阜県、静岡県、三重県の変圧器・コンデンサ等の高濃度PCB廃棄物は、令和4年3月31日までにJESCOへ処分を委託することが、義務付けられています。

本年7月5日に、この処分期間の末日までの日数が1,000日を切りました。

当施設では、カウントダウンの表示板をプレゼンテーションルームと事務所に設置して、PCB廃棄物の安全で確実な処理と早期処理を進めて参ります。



《令和元年7月8日撮影》

3. 全国安全週間の取り組み

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

本年度は『新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場』をスローガンに掲げ、7月1日(月)～7月7日(日)に実施されました。

豊田PCB処理事業所でも労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みました。

◆安全大会

7月1日(月)に安全大会を開催しました。

この安全大会は、豊田PCB処理事業所で働く全従業員の安全意識の高揚を図ることを目的としています。

大会では事業所長より、JESCO社長からのメッセージとJESCO全体のトラブル状況の報告、今後の安全への取り組みについて話され、運転会社社長からも安全訓話を行いました。最後に所長の掛け声のもと、全員で「ゼロ災呼唱」を行い安全作業を誓いました。



その他の安全活動としては、『職場4Sの日』を設け、保護具の清掃点検及び処理棟で使用する安全靴と靴箱の清掃、事業所を挙げての不用品の処分など、職場の身の回りの4S活動に努めました。

また、7月5日(金)に事業所内の安全パトロールを、7月6日(土)には交通安全の日として交通安全マナーの啓発、そして7月7日(日)を健康管理の日として家庭でのリフレッシュや健康管理を呼びかけました。

4. 液体漏洩時対応訓練

豊田PCB処理事業所では、毎年7月に液体漏洩時対応訓練を実施しています。

この訓練は、PCBなどの有害物質が万が一漏洩したときに、適切な液体の漏洩停止措置と回収及び、連絡体制を確認するために実施しています。

現場の作業班ごとに漏洩の想定シナリオを作成して、合計22回の訓練を実施しました。どの班でも、本番を想定し真剣な訓練を実施し、迅速な対応や連絡ができることを確認しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

